

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2020年6月4日

福岡県知事 様

提出者

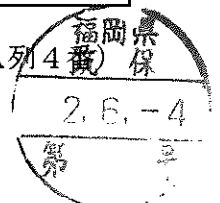
住所 福岡市博多区博多駅前1-2-5 紙与博多ビル  
 氏名 住友不動産株式会社新築そっくりさん事業本部戸建九州事業所  
 事業所長 江藤 武志  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
 電話番号 092-432-3512

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和元年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部戸建九州事業所
事業場の所在地	福岡市博多区博多駅前1-2-5 紙与博多ビル
事業の種類	建設業・総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2019年4月1日から2020年3月31日

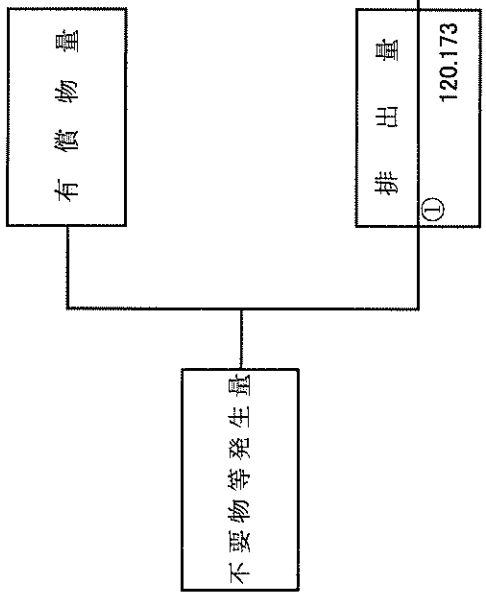
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,381 t	全処理委託量	2,381 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	2,158 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,550 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			



(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

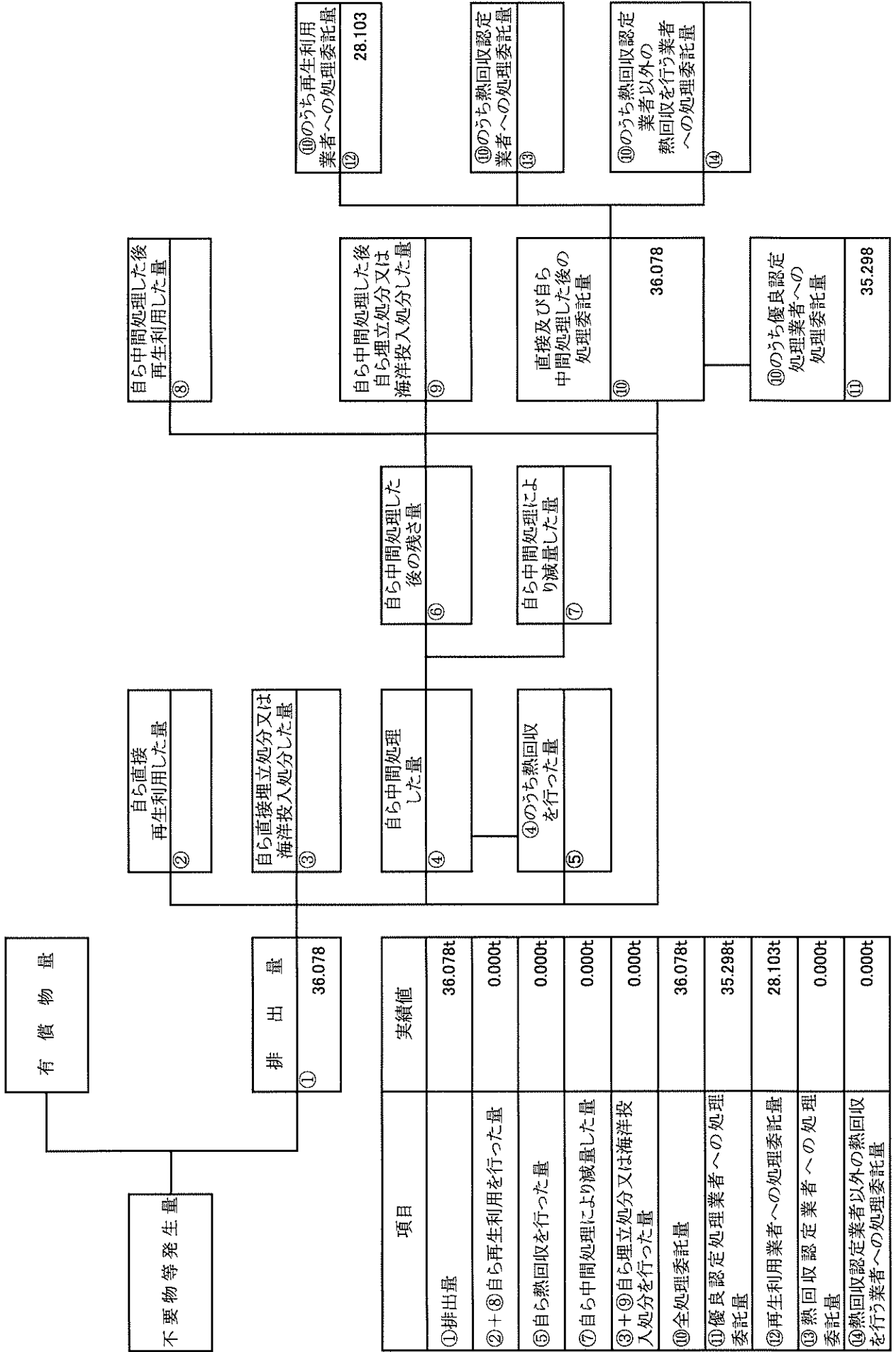
計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	120.173t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	120.173t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	118.563t
⑫再生利用業者への処理委託量	65.695t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

(産業廃棄物の種類：紙くず)

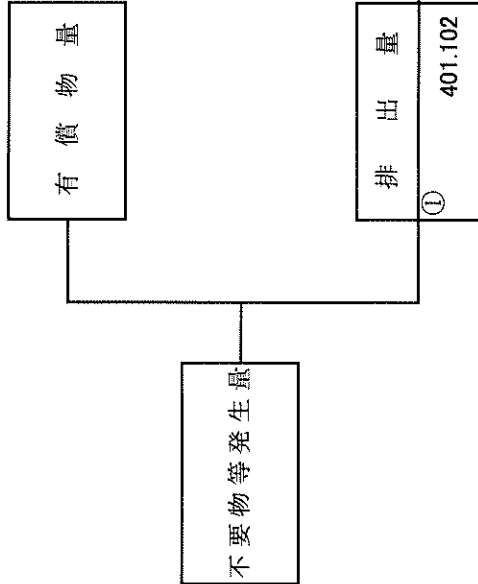
計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	36.078t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	36.078t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	35.298t
⑫再生利用業者への処理委託量	28.103t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

(産業廃棄物の種類: 木くず)

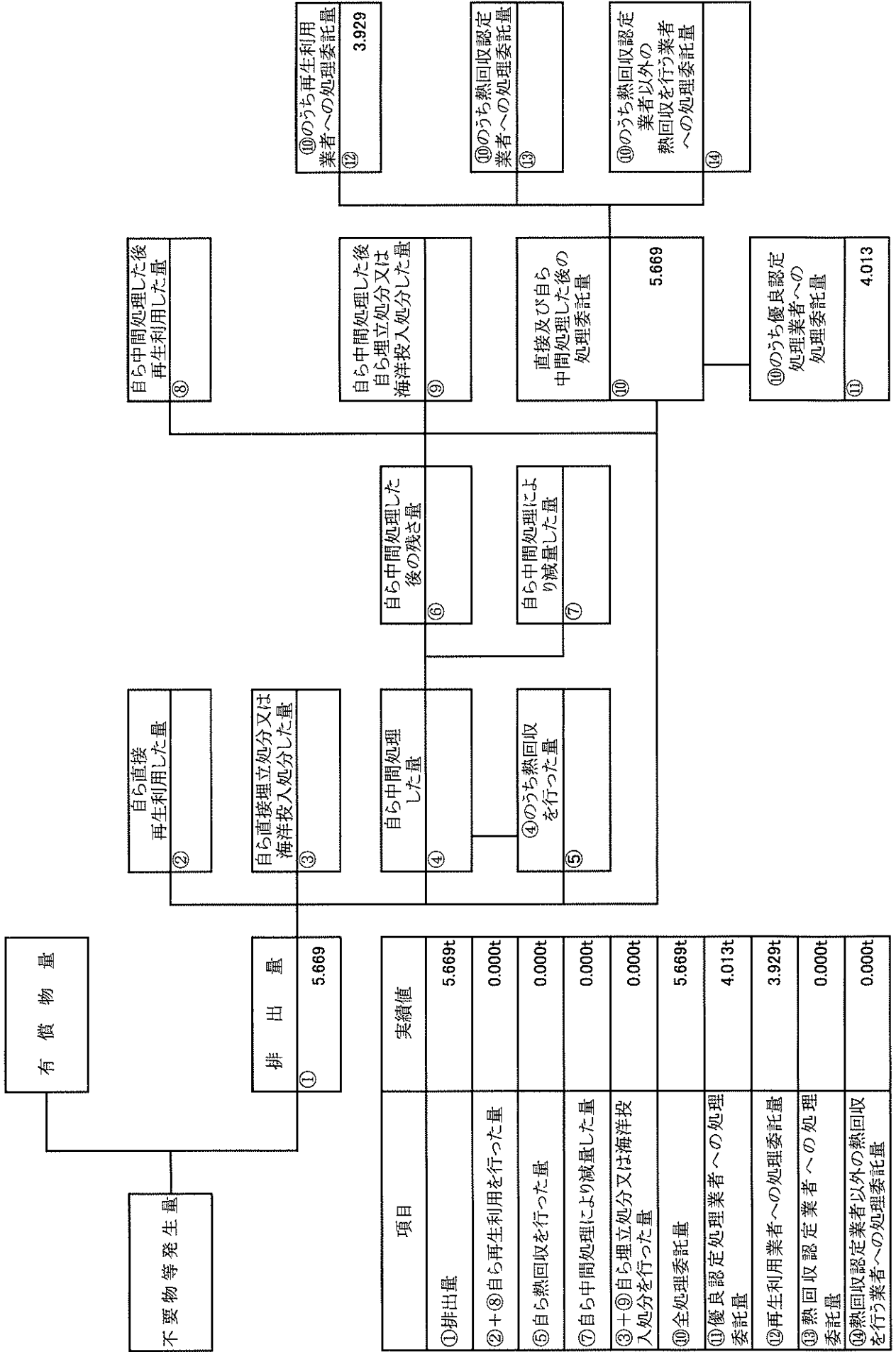
計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	401.102t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	401.102t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	349.402t
⑫再生利用業者への処理委託量	398.490t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

(産業廃棄物の種類：繊維くず)

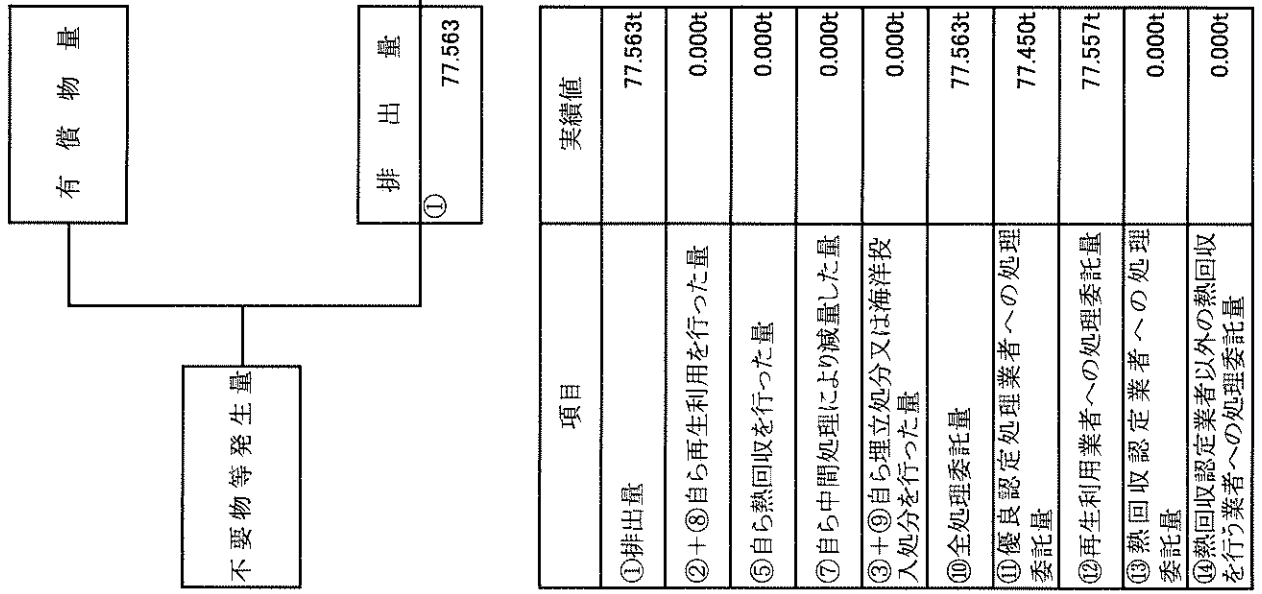
計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	5.669t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	5.669t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.013t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.929t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

(産業廃棄物の種類：金属くず)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	77.563t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	77.563t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	77.450t
⑫再生利用業者への処理委託量	77.557t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

自ら中間処理した後の再生利用した量  
⑧

⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫  
77.557

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
⑭

自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量  
⑨

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
⑩  
77.563

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑪  
77.450

自ら中間処理した後の残さ量  
⑥

自ら中間処理により減量した量  
⑦

自ら直接再生利用した量  
②

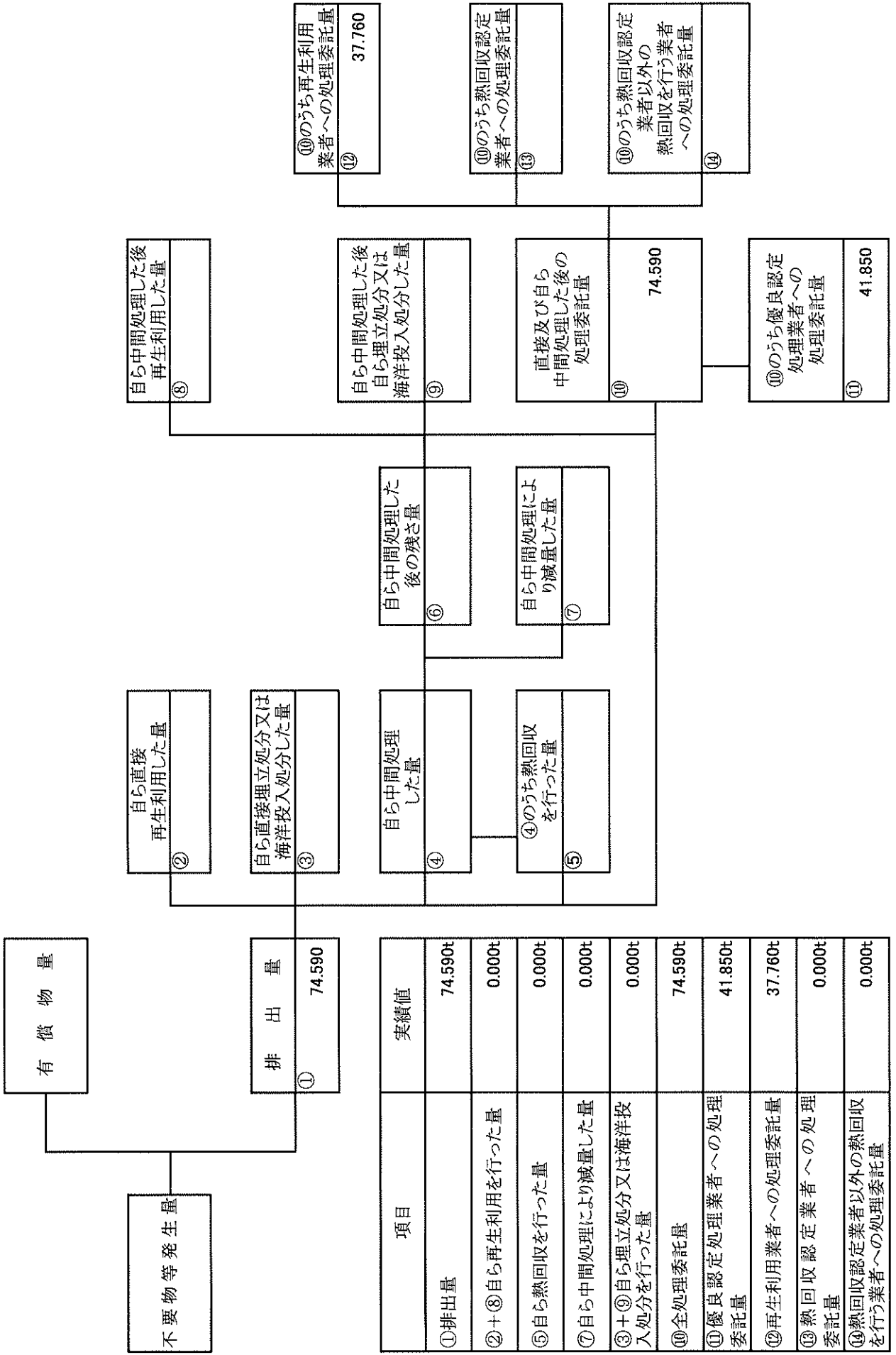
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量  
③

自ら中間処理した量  
④

④のうち熱回収を行った量  
⑤

(産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器くず)

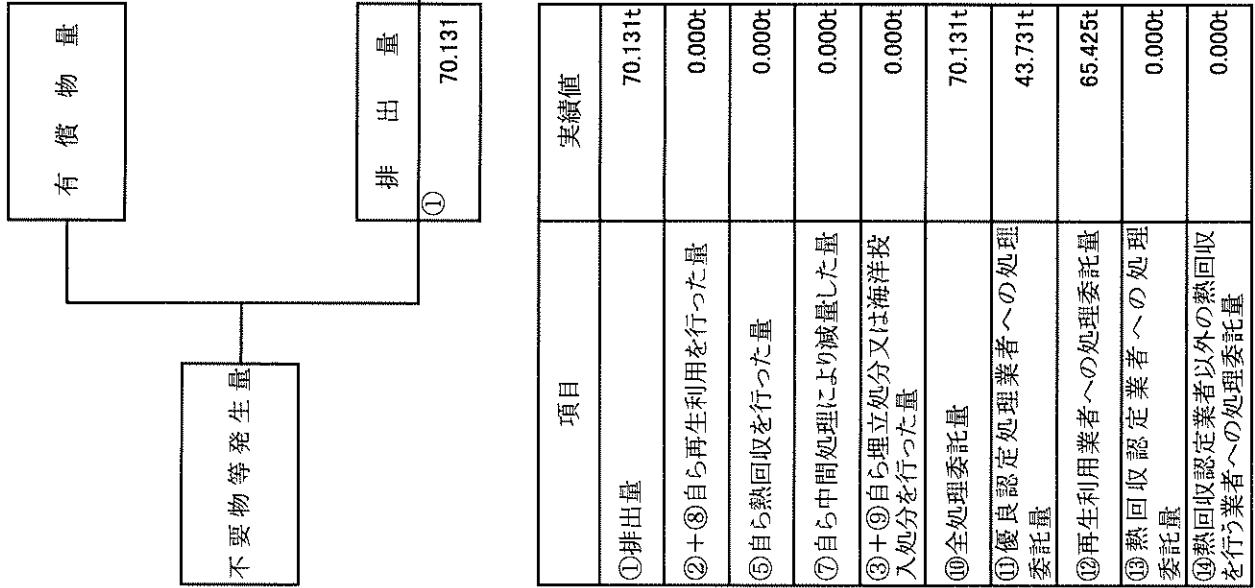
計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	74.590t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+④+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	74.590t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	41.850t
⑫再生利用業者への処理委託量	37.760t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃石膏ボード)



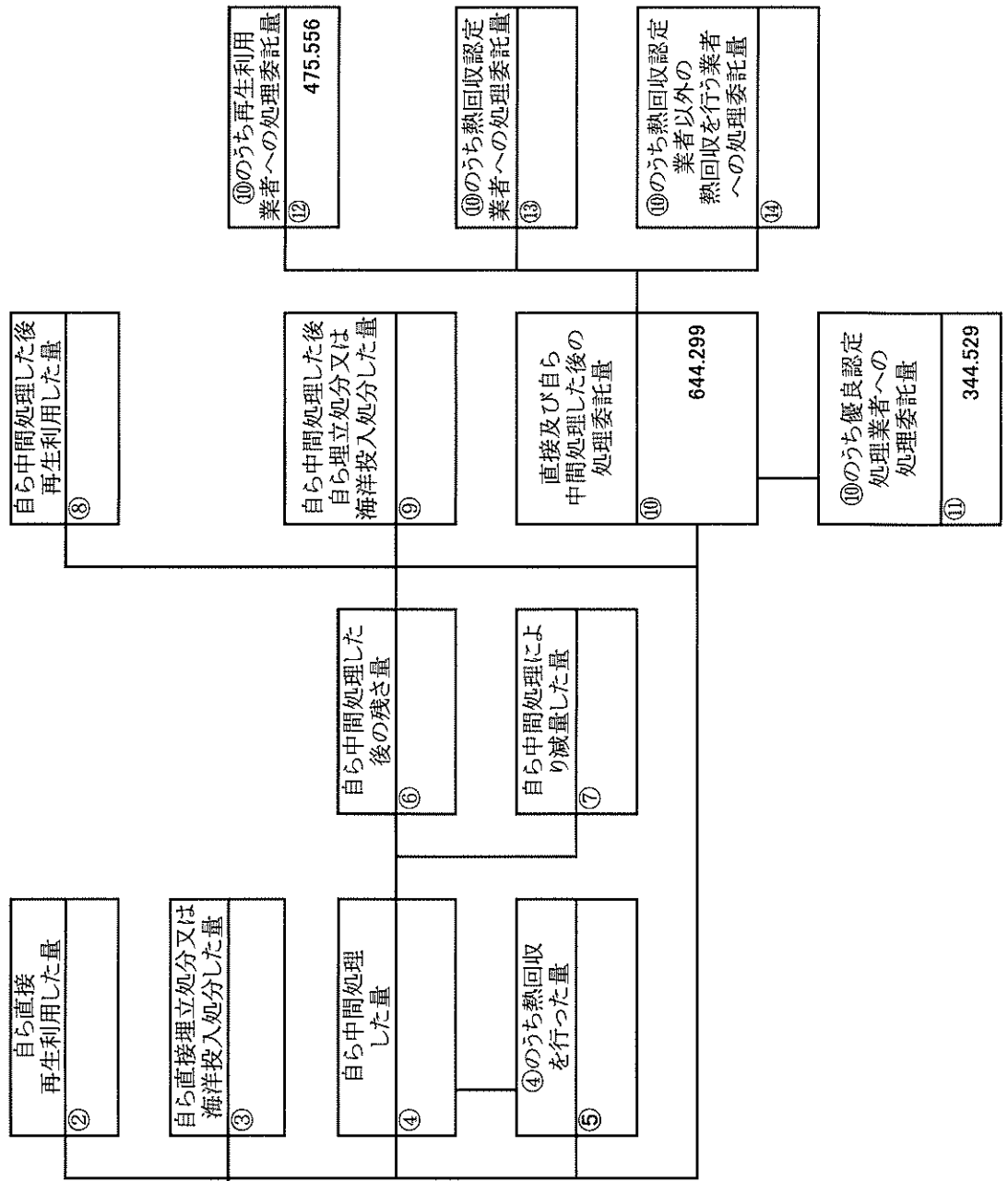
項目	実績値
①排出量	70.131t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	70.131t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	43.731t
⑫再生利用業者への処理委託量	65.425t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t



(産業廃棄物の種類：がれき類)

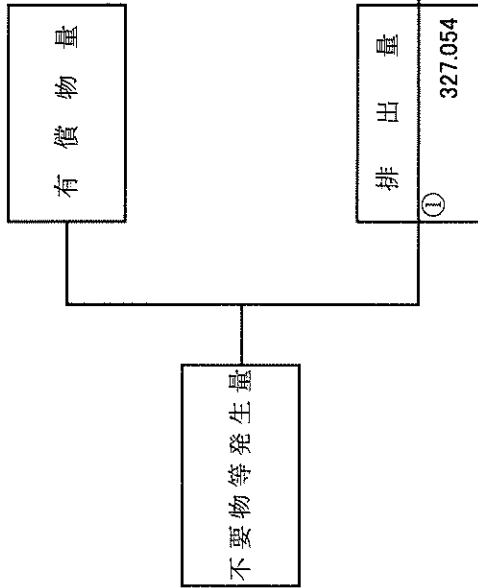
計画の実施状況

不要物等発生量	有償物量	
	排出量	644.299
	①	
項目	実績値	
①排出量	644.299t	
②+③自ら再生利用を行った量	0.000t	
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t	
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t	
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t	
⑩全処理委託量	644.299t	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	344.529t	
⑫再生利用業者への処理委託量	475.556t	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t	

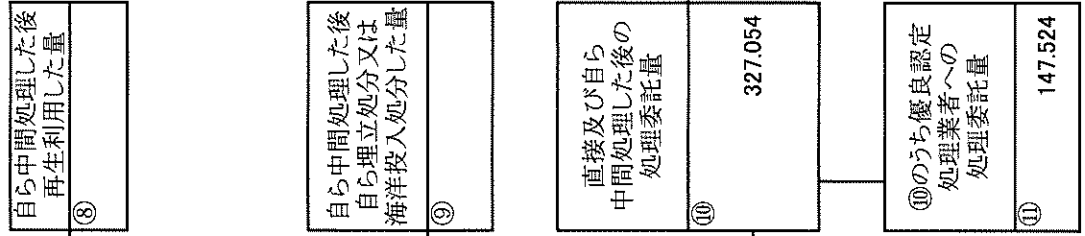


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：混合廃棄物)



項目	実績値
①排出量	327.054t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	327.054t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	147.524t
⑫再生利用業者への処理委託量	249.444t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000t



⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
⑫ 249.444

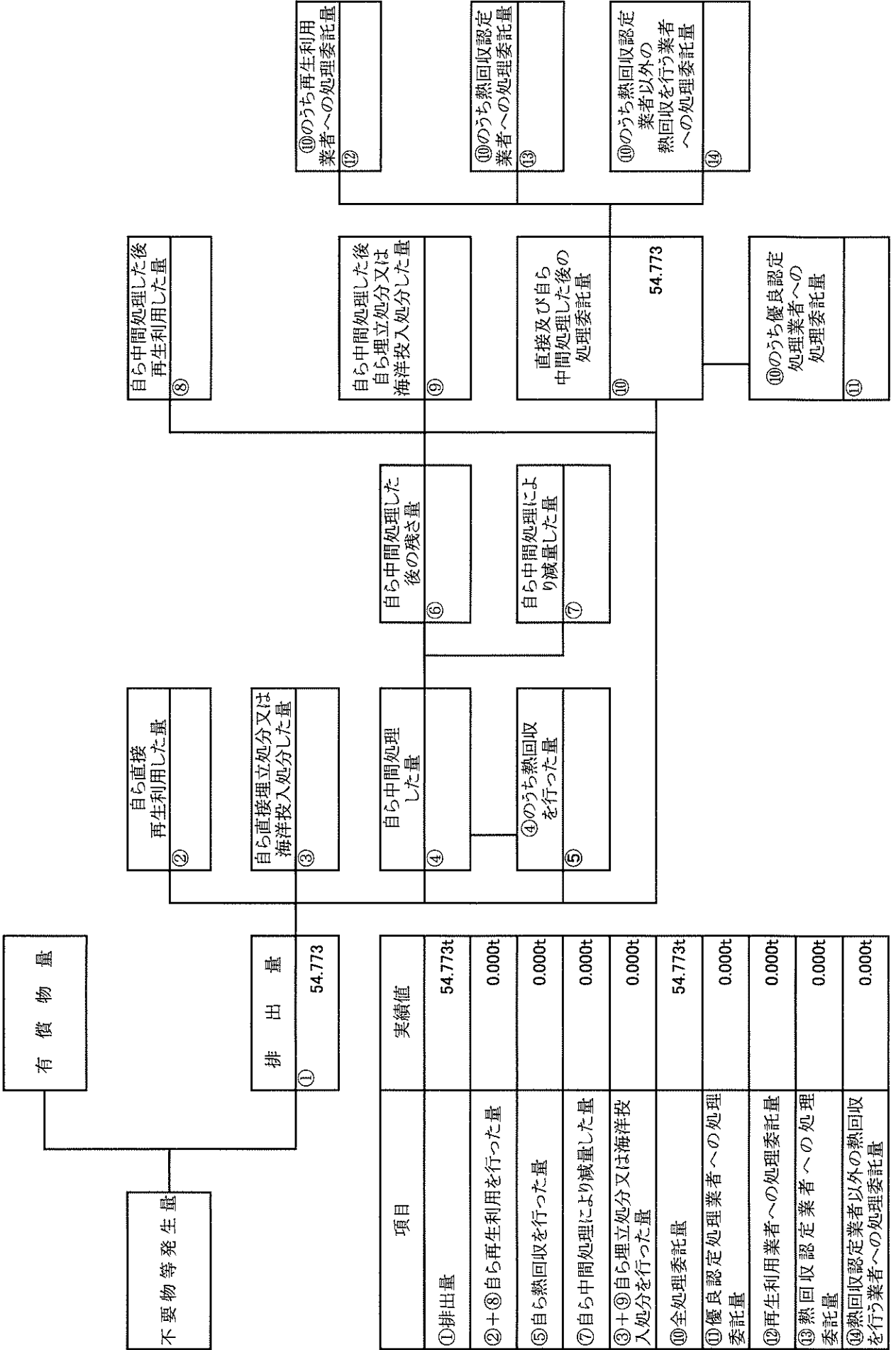
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
⑭

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑪ 147.524

(産業廃棄物の種類：石綿含有産業廃棄物)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	54.773t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000t
⑤自ら熱回収を行った量	0.000t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000t
③+④+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000t
⑩全処理委託量	54.773t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.000t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000t
⑭熱回収認定業者以外の業者を行う業者への処理委託量	0.000t

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。